

1. 困った人 病んでいる人に 真心こもる奉仕
2. 地域住民 地域医療機関に密着した医療
3. 何人も平等に医療を受けられる病院

謹賀新年

院長 花園公彦

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

少子高齢化が進み急激な人口減少社会となる中、日本の医療体制は医療機能の分化と医療・介護連携の取り組みが進められています。

袋井みつかわ病院の役割は「慢性期多機能病院」です。多機能とは、①多様な入院の受け入れ機能 ②リハビリ機能 ③在宅復帰機能 ④人生最終段階における医療・ケア機能などを示します。具体的には当院が創設時より掲げている「地域に密着した、地域に必要とされる病院」として近隣の在宅、施設から軽症な救急患者様の受け入れ、急性期病院での治療が終了したものの自宅復帰にはリハビリが必要な方へ速やかにリハビリを開始し一日も早い在宅の復帰を目指す、また重度な後遺症が残存する方には残された機能を最大限生かしたりハビリの提供により病前と同様な生活を送られることを目指します。介護医療院においては、積極的治療からターミナルにも対応し在宅復帰機能、ショートステイ機能、終の棲家としての生活機能など地域に望まれる機能を取り揃えています。高齢者の医療のあり方は「治し、支える医療」の実現が課題であり、治療と同時に「リハビリ」「栄養管理」「口腔衛生」が重要なポイントとなります。高齢者は病気の治療だけに目を向けると病気は完治しても療養期間に比例して筋力は低下するため寝たきり状態を引き起こし、また嚥下機能の低下により食事がとれなくなります。嚥下機能の低下は食物の誤嚥だけでなく口腔内の細菌も肺の中に入るため誤嚥性肺炎のリスクが高まります。袋井みつかわ病院では医師、看護師、介護士、リハビリ、管理栄養士、歯科衛生士が1つのチームとして患者様に介入し治療、リハビリ、栄養管理、口腔ケアを並行して進め一日も早い日常生活復帰を目指しています。今年も地域の方に信頼され必要とされる医療、サービスの提供に努めて参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。



1病棟

『みつかわ病院感謝祭を終えて』

1病棟 看護師
藤田 友子

COVID-19の感染法上2類から5類に移行し外出制限がなくなり、普段の生活に戻つつある中、今年は4年ぶりに『みつかわ病院感謝祭』を開催することができました。今年は初めて患者様参加のカラオケ大会を主催し、なつかしい昭和の歌で会場全体が声援と拍手で盛り上がりました。露店では普段では食べられない『たいやき』『わた菓子』『たこ焼き』など、患者様個々の嚥下状態に合った形状を準備しいろいろな味を楽しんでもらいました。



ご家族様から「一緒に過ごせて楽しかった」「また開催してほしい」という声も多く聞かれ、やりがいを感じることができました。来年も患者様、ご家族様、そして地域の方にも来院していただき、地域に開かれた病院として思い出に残る感謝祭を開催していきたいと思っております。

リハビリテーション 『3か月間の育児休暇を経て』

リハビリテーション科 理学療法士
溝口

リハビリテーション科理学療法士の溝口です。今夏に娘が生まれ、3ヶ月間の育児休暇を取得しました。

当科において男性の育児休暇は私が初めてです。男性の育児休暇取得が国から推奨されていることを知り、積極的に取得したいと考えていました。しかし、育児は初心者であるため取得前はとても不安でしたが、育児休暇中は家族と向き合う時間が十分にあり、オムツ交換、沐浴、寝かしつけ等様々な経験ができたことはとても有意義な時間でした。

今後育児休暇の取得を検討している職員がいれば、アドバイスや相談にのりたいです。



新入職員紹介

介護医療院クラーク

2023年4月に入职して半年が経ちました。今までは急性期の病院で医療事務として働いていたのでクラークとして勤めるのは初めてでした。

毎日、より近い立場で病棟スタッフの方々と関わるが増えたので、新しい気づきと学びがあり、日々送らせて頂いております。まだまだ知識不足ではありますが、病棟スタッフが働きやすいよう考え行動し、今後も精進していきたいと思っております。

職員募集

●介護職 新築寮完備・未経験可
その他働き方をご相談に応じます

詳しいお問い合わせは

☎0538-49-2211 担当：事務長

求人の詳細はこちらへ



ブログも更新中



<https://www.mitsukawa-fukuroi.jp/>